

26日に開幕する秋の岡山県高校野球大会（山陽新聞社後援）の組み合わせ抽選会が23日、倉敷市内であり、対戦カードが別表の通り決まった。大会は26、27日、10月3、4、10、11日の6日間、倉敷市のマスカットスタジアムを主会場に開催。地区予選を勝ち抜いた20校が来春のセンバツの選考資料となる中国大会（10月23日開幕・島根）の出場3枠を争う。

## 秋の岡山県高校野球 26日開幕

対戦校	対戦日	対戦時刻
倉敷工東	26日	9:00
倉城野商	27日	9:00
玉野大	26日	9:00
西津作	26日	12:00
高関	27日	12:00
玉理山	26日	12:00
創志	27日	9:00
岡山南	27日	9:00
倉敷山	26日	9:00
勝山	26日	12:00
岡興	27日	12:00
学日	27日	12:00

【注】倉は倉敷市営、工はエイゴン、他はマスカット

組み合わせ

# 学芸館、創志リード

一無失点。最速145km/h。日新は西辻、川口の二遊間の右腕仲村のほか、左の間に攻守の要。興譲館は西村ら2番手以降も充実し、勝楽、宇地原ら1年生が上位に並ぶ打線が盛り上がる。初戦で当たった勝山と、岡山工は積極的な打撃が持ち味だ。山陽は倉敷商は最激戦区となった。強打の捕手選で苦戦を強いられた倉敷商は甲子園交流試合で好投した左の永野が健在

で、西川、雄龍ら1年生の好打者が援護したい。横山、福島の左右の二枚看板で臨む岡山東商、粘り強い岡山南がどこまで食らいつけるか。作陽は理大付のゾーンは力が拮抗（きっこう）。理大付は大塚、正田ら振りの鋭い打線に切れ目がない。関西はセンタースタイルが堅く、遊撃松川、捕手小林らがバットでも存在感を示す。左腕岡崎が打たせて取る玉島商、

## 力の拮抗も 序盤から厳しい戦いか

旧チームの主力6人が残る作陽も上位をつかろう。高梁は予選4試合で31得点と勢いがある。倉敷工は津山商は、切れのある直曲球を投げ込む玉野商工の左腕長谷川に注目。倉敷工は機動力があり、水田、多々野の両右腕が安定している。リードオフマン河田がけん引する城東、津山商は攻撃が活発。昨年の1年生大会で優秀校決定戦に進んだ西大寺は27年ぶりの出場で伸び伸び戦えるか。

新型コロナウイルスの感染防止のため、一般客は観戦できない。開会式は26日午前8時半から美咲町のエイコンスタジアムで行われ、岡山南の吉本湧生我主将が選手宣誓する。

（田井香菜子）